DVゲートウェィ機能(運用イメージ)

ターミナルモード 外部ゲートウェイソフト RS-MS3W or RS-MS3A を使用



Ver. 07 : 2021/05/31

DVゲートウェィ機能(運用イメージ)

ターミナルモード IC-9700とIC-705の内蔵ゲートウェイを使用



アクセスポイントモード IC-9700とIC-705の内蔵ゲートウェイを使用



DVゲートウェイ機能とは? ターミナルモードとアクセスポイントモードの2種類の機能があります。

■対応機種: ID-31PLUS, ID-51PLUS2, ID-52, ID-4100, IC-705, IC-9700

- ・レピータが設置されてない場所やレピータにアクセスできない場所などでも、Androidのスマートフォンや タブレット又はWindowsパソコンなどにフリーウェアのアプリをインストールして携帯電話回線やインター ネット回線に接続してD-STAR通信ができる機能。(アプリ Android: RS-MS3A, Windows: RS-MS3W)
 ※IC-705とIC-9700はネットに直接接続する(内蔵ゲートウェイを使用する)場合は、RS-MS3は不要。
- ・DVゲートウェイ機能を使用する通信は、レピータからレピータに接続する通信方法(ゲート越え通信)と同じになる。 [レピータに関係(接続)しているのではなく、独立した専用ゲートウェイとして動作] よって、山かけ通信(1つのレピータだけを使用する通信)はできないため、常にゲート越え通信の設定となり TO や UR は CQCQCQ ではなく<u>接続先レピータの設定</u>や<u>相手局コールサインの設定</u>が必要。
- ・レピータのように他局同士の交信は聞こえない。

※詳細は説明書「DVゲートウェイ機能について」をアイコムホームペーシからダウンロードして確認してください。(2021年5月現在)ファイル名:DV_Gateway_Web_JPN_4_all.pdf
 (最終ページ右下の A-7329-2J-6が詳細の最新版)

■DVゲートウェイ機能を使用する時の条件(重要)

- ・接続する携帯電話回線やインターネット回線は「<u>IPv4**グローバルI Pアドレス**</u>」(固定 I Pアドレスは不要) が割り当てられていること。
- ・インターネットルーターやモバイルルーターを使用する場合は、ルーターに「ポート開放」ができること。
 ※RS-MS3 Version 1.30は、ホールパンチをONにすることで、ポート開放ができない場合やグローバル IPアドレスでなくても使用できる場合があります。
- ・携帯電話回線は「<u>データ通信モード</u>」が使えること。
- ・スマートフォンやタブレットは「Android 5.0以上」で「USBホスト機能(OTG)」が使えること。
- ・パソコンのOSはWindows 10又は 8.1 (2021年5月現在)
- ・D-STAR管理サーバーに、自局のコールサインを登録してあること。



注意:使用するスマートフォンやタブレットが対応しているか・契約している携帯電話会社やインターネット回線(プロバイダー)が対応 しているか・IPv4グローバルIPアドレスが使えるか・ルーターの設定方法などは、スマホなどの機器の種類が多いことや携帯電話や インターネット回線は個人契約で契約内容がそれぞれ違うことなどから、アイコムに問い合わせても対応ができないため、スマホなど の機器メーカーや携帯電話会社・インターネットプロバイダーなどに直接確認をお願いします。

■DVゲートウェイ機能で運用する時の注意と運用イメージ

- ①ターミナルモードでの運用
 - ターミナルモードで使用する場合は無線機を直接使用して、さらに電波が出ないため自局の免許のみで 運用が可能。
- ●相手局がレピータを使用している場合

TOに接続先レピータを設定、又は「コールサイン指定呼出」として相手局のコールサインを設定



●相手局がDVゲートウェイ機能を使用している場合 TOに「コールサイン指定呼出」として相手局のコールサインを設定



②アクセスポイントモードでの運用

ターミナルモードで使用する場合は、電波が出ないため自局の免許のみで運用しても問題はないが アクセスポイントモードの場合は無線局の免許に注意が必要。

■アクセスポイントモードで使用する無線機には、<u>自局以外の免許が必要</u>(免許状が2枚)

- ・固定局(移動しない局)の免許にする。 設置場所限定になるため、現実的でない。(アクセスポイント用の無線機を移動できないため)
- ・移動局として社団局の免許にする。

自分が構成員であれば2局とも運用が可能。但し、ターミナルモードで使用する時は社団局のコール サインになり自分のコールサインで運用できない。(常置場所が同じなら設備共用で自分のコールサインで可)

・同居する家族と設備共用免許にする、又は他局のアクセスポイントにアクセスする。
 設備共用であれば、ターミナルモードでも自分のコールサインで運用できる。但し、免許人がアクセスポイントの場所に立ち会っている必要がある。(ゲストオペレーター制度と同じ)

●ターミナルモードと同じく、DVゲートウェイ機能を使用している相手局とも通信が可能



DVゲートウェィ機能(G/Wソフトの設定)

パソコン用RS-MS3Wの設定例 (RS-MS3Aも同じです)

KON RS-MS3W		- 1		×
ファイル(<u>F)</u> 設定(<u>S</u>) ヘルプ(<u>H</u>)				
開始 停止				
管理サーバーアドレス:	trust.d-star.info			
ゲートウェイコールサイン:	JAXXXX A			
ゲートウェイ種別:	● 日本	○ 海外		
UDPホールパンチ:	OFF	O ON		
許可コールサイン:	◉ 無効	◯ 有効		
許可コールサイン一覧:		追加	削除	î;
			適用	

■専用アプリケーションについて

Android端末用(スマートフォンなど)
 Playストアで「ICOM」で検索して<u>RS-MS3A</u>をインストール

・Windowsパソコン用 アイコムホームページの「サポート情報」ページのファーム ウェア・ドライバ等の中のアマチュア無線機器・オプション 関連から<u>RS-MS3W</u>をダウンロードしてインストール

<基本設定>

管理サーバーアドレス 初期値(trust.d-star.info)のまま使用する。

②ゲートウェイコールサイン

自局のコールサインに G, I, S 以外のアルファ ベット(識別)を <u>8文字目</u> に付加する。

③ゲートウェイ種別

初期値(日本)のまま使用する。

④UDPホールパンチ

接続するルーターのポート開放ができない場合や、 使用になる端末にグローバルIPアドレスが割り当 てられていない場合でも、他局を呼び出せる機能。 ※他局から呼び出しの待ち受けはできない。

(3分位で通信ルートの接続が切れてしまうため) ※ONに設定しても、UDPホールパンチ非対応の

バージョンのRS-MS3でDVゲートウェイ機能を 使用している局からの応答は受信できない。 ※使用する回線にグローバルIPアドレスが割り当 てられている場合と使用するルーターにポート 40000が設定できる場合はOFFで使用する。

⑤許可コールサイン

初期値(無効)のまま使用する。

DVゲートウェィ機能(ルータの設定例)

インターネットを使用する場合は、インターネットからパソコンやスマホなどにD-STARのデータを 流すために、インターネットルータやモバイルルータに<mark>ポートを設定</mark>をする必要があります。 俗に言う「ルータに穴をあける」、「ポート解放する」という設定です。

※前ページの「UDPホールパンチ」をONで使用する場合は、設定不要です。

設定例

※パソコンやスマホなどの I P アドレスが「192.168.11.250」の場合の設定例です。 ルータからDHCPで I P アドレスを取得している場合は、 I P アドレスが変わる場合が あるため、固定 I P アドレス設定を推奨します。

静的IPマスカレード設定(ポート変換設定)								
ローカルIP			プロトコル	開	開始ポート		終了ポート	
192.168.11.250)	UDP		40000	4	0000	
(静的IPマスカレード設定をすれば、IPフィルターは設定不要)								
IP 74	ルター設定(NAT設	定)					
番号	方向	方法	プロトコル	発信元ポート番号	宛先ポート番号	発信元IPアドレス	宛先IPアドレス	
01	WAN側から	透過	UDP	*	40000	*	192.168.11.250	
03								

ルーターは、プロバイダーやNTTなどからの提供品やインターネット接続環境によりルーターごとに設定方法が違いますので、 使用しているルーターの説明書や提供元に問い合わせをして設定を行ってください。

DVゲートウェィ機能(運用方法)

DVゲートウェイ機能を使用時の運用のポイント【確認とCQ】

① 接続先のレピータが使用中かどうかの確認

■ PTTを1~2秒押して送信(カーチャンク)して、受信に戻した時のメッセージを確認 「UR?: JR1UTI G」とUR?が表示されればOK (メッセージの詳細は、下記の表の通り)

⇒「UR?: JR1UTI G」と表示が出ていても<u>ちょうど送受信の切れ目</u>で、<u>さいたま南レピータで</u> <u>交信中かも知れません</u>。5秒から10秒後にもう一度確認するとベスト。



▶ ゲート越えをする時は、必ず行いましょう! ただし、あまり頻繁にするのは「マナー違反..」

GW越えQSO	メッセージ	主な理由
できる	① UR?:JR1UTI G	TOに指定したレピータに接続されていて、 <mark>接続先のレピータは使用可能</mark>
できない	② RPT?:JP1YLQ G	TOに指定したレピータに接続されていて、 <mark>接続先のレピータは使用中</mark>
	③ RPT?:JR1UTI G	TOのコールナインが違っている, レピータのゲートウェイ(GW)が不調, 自局のコールナインをJARLの管理 サーバー に登録してない, 自局やレピータのコールナインが違っている, MYの8桁目の識別(なし, A~Fなど) が違っている、コールナイン指定呼出で相手局がJARLの管理サーバーに未登録、など

2 C Q の出し方

- C Q は<u>簡潔・短時間</u>、そして<u>C Q の連続は控え</u>、ターミナルモード(アクセスポイントモード)を 使用していることをアナウンス
- C Qを出したら、しばらくワッチ(応答のため、設定しているかも) C Q を長々と出したり(<u>連呼</u>)や、C Q の短時間連続送信(<u>繰り返し</u>)は「マナー違反..」

「CQ CQ CQ こちらは JR1UTI ターミナルモード(アクセスポイント)からさいたま南430です。 _{これが基本⇒} さいたま南430レピータどなたかお聞きの局QSOお願いします。

「RX-CS」を押して、当局のコールサインを設定して応答してください。どうぞ。

※さいたま南430レピータでなく「さいたま南レピータ」でもОК

これは?(変です)⇒ ターミナルモード(アクセスポイント)からさいたま南430レピータ、コールサイン指定です。

DVゲートウェィ機能(アクセスする無線機)

アクセス側の無線機をDR機能で使用するためのレピータリストへの登録方法



2021- ©JR1UTI